

40101鉄道・軌道業における死傷災害100事例まで（2018年）

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	起因物(小)	労働者規模
1	2018	1	10 ～ 11	濡れたカーペットの場所で、水道管破裂の箇所を確認して戻る際にダンボールを敷いて渡るときに足を滑らせ、右足首をひねって骨折した。	55	19	417	30 ～ 49 人
2	2018	1	16 ～ 17	列車（2両編成）乗務中、乗車されたお客様へ乗車券を発売すべく、1両目より2両目へ移動した際に、通路（連結部分の蓋）につまづき、車内で転倒し動けなくなった。	53	2	232	100 ～ 299 人
3	2018	1	23 ～ 24	改札内でお客様同士のトラブルが発生したため、職員が現場に急行すると男性2名（A・B）が口論しており、Aより警察介入の要請を受け、Bに警察要請する旨を伝え110番通報した。警官が到着前にBがその場から立ち去ろうとしたため、同職員は待ってもらうよう伝えたが、同職員の制止を振り払いなおも立ち去ろうとしたため、制止させるためBを掴もうとしたときにバランスを崩し、階段上部より4段目位まで転落し、左肘、左膝、左肋骨を床に強打した。	33	1	413	—
4	2018	1	16 ～ 17	上級者コースを最終点検中、前日の強風で落ちた枝に乗ってしまい、バランスを崩し転倒した。その際、両板が外れず足に負荷が掛かり両膝を損傷した。	33	2	719	100 ～ 299 人
			11	廃材車コンテナ内にて、廃材の積み込み応援中に、プラスチック片				300

12	2018	2	8 ～ 9	除雪作業を終え、ホテルへ戻る際、地面が凍結しており誤って足を滑らせ転倒して、左肋骨を負傷した。	52	2	719	～ 299 人
13	2018	2	5 ～ 6	踊り場から歩道に出た際に、段差部分（約10cm）で空足を踏んだ格好になり、前のめりに転倒して歩道部分で左膝を打ち付けて負傷した。	55	2	417	100 ～ 299 人
14	2018	3	9 ～ 10	検査業務で交換庫3番棟の海側通路にて、ヒーターの動作確認を行った後、移動時に1歩踏み出した際に右足首をひねり、進行方向左側のピット内へ左足から落下し、右足関節外側靭帯損傷と診断された。	30	19	417	300 ～ 499 人
15	2018	3	14 ～ 15	鉄道車両を洗車するための洗車台（地面から階段5段で昇降する）で車両清掃をしていた。床清掃用具のポリッシャーを片付けるため、洗車台から下ろそうと2名でポリッシャーを持ち階段を下りていたところ、上を持っていた被災者が最初の1段を下りた際に足をひねりバランスを崩しそのまま被災者のみ地面に落下した。	44	1	413	30 ～ 49 人
16	2018	3	18 ～ 19	駅ホーム上にある発車ベルを押し、乗務員室に戻る際にホームと電車間に右足を落とし、右足の太ももが腫れ上がり、痛みも出た。	26	1	418	100 ～ 299 人
17	2018	3	10 ～ 11	自転車立ち入り対応後、管理駅へ連絡するため、下り線路脇の通信ケーブルを保護するトラフ上を小走りで最寄りの沿線電話に向かう途中、トラフの突起物につまずき、前方にあったリレーボックスに頭頂部から激突した。頭部打撲・頸椎捻挫・頭部筋肉痛・頸肩腕症候群と診断された。	53	2	417	50 ～ 99 人
18	2018	3	16 ～	スキー場の駅舎先端コンクリート斜路で、営業終了のため、除雪・清掃を行っていた際、足を滑らせて転倒し、頭部を打ったと思われる	64	2	417	100 ～

			17	る。				299 人
19	2018	3	8 9	大きな物音がしたため、階段を確認したところ、地下1階段踊り場隙間に、被災職員が倒れているのを発見した。転落時の記憶が戻り、聞き取りを行ったところ、執務室のある2階トイレが使用中であったため、4階トイレを使用し当該階段に向かう際、前日什器類を運び出したことを思い出し運び出した部屋の方を振り返りながら歩いていた際、階段を踏み外し階段手摺りを掴もうとしたが手摺りを越え転落した。	54	2	413	100 ～ 299 人
20	2018	3	9 10	物品庫で段ボール箱を棚上部に脚立の三段目（床から約1m）に上り、上げていたところ、バランスを崩し転落し右足踵より着地するとともに尻餅をついた。このため、右踵骨を折った。	60	1	371	100 ～ 299 人
21	2018	4	23 24	地下鉄車両を整備するピットにて、車両故障を調査中に車両電源は切りとしたが、車両に蓄電された放電をするスイッチを投入せず、点検のため高圧回路に触れてしまい感電した。	33	13	352	100 ～ 299 人
22	2018	4	4 5	休養室で起床時、高さのあるベッドから床に降りるため、落下防止柵に掴まったが、柵がベッドから外れ、体の安定を失い、右足親指の爪先を床に着いた際に右足親指を受傷した。	43	19	391	300 ～ 499 人
23	2018	4	0 1	最終列車監視のために駅上りホームを巡視中の上司が、第三者から突然、後頭部に暴力を受けた。その一部始終を目撃していたため、自身の方に逃走してきた該男性を制止しようと試みたとき、その勢いそのまま突き飛ばされ、転倒したときに、右手首を骨折した。	58	99	911	—
24	2018	4	1	構内で保線共同作業（トングレーン調整に伴う転てつ機調整）を行っていた。転てつ機の動作状況を確認しようと歩行しつつかんだときに、軸足が後ろ側に滑り前のめりに転倒した。その際にサー	51	2	921	50 ～

			2	ドレール用保護板のグラケット（まくらぎと保護板を固定する金具）に、右眼瞼部がぶつかり、負傷した。				99 人
25	2018	4	16 ～ 17	列車の出区点検中、運転台から降車の際、地面に着地した左足が指定通路の敷石の間のバラストに足を取られ左足首をひねった。乗務員室ドアの握り棒から手を離していたためバランスを崩して後に転倒した。	41	3	417	100 ～ 299 人
26	2018	4	16 ～ 17	本人は乗務員室から降車時、ステップから右足を滑らせ、地面（バラスト部）に着地した際、右足首をひねり転倒し右足関節外果剥離骨折した。	43	2	371	50 ～ 99 人
27	2018	4	10 ～ 11	終点停留所まで乗務し、折り返し運転のために運転台を交代するよう移動していた際に、乗車口ステップを踏み外し転倒しそうになり、近くにあった機器に右わき腹を打ち肋骨骨折の負傷をした。	48	3	232	500 ～ 999 人
28	2018	4	14 ～ 15	当該被災者は、自走式草刈り機にて除草作業を行っていた際、刈刃と石（約4cm）が接触し、飛んできた石が右足首内側に当たり負傷した。	61	4	523	10 ～ 29 人
29	2018	5	9 ～ 10	レール集積場付近にて、起動モーターカーより、レール取り卸し作業中にチェーンブロックを巻き上げる際、レールにレール吊り金具が引っ掛かり、その反動でレールが落下し、レール吊り金具取扱者の足上に落ち負傷した。	45	4	211	30 ～ 49 人
30	2018	5	9 ～ 10	レール集積場付近にて、起動モーターカーより、レール取り卸し作業中にチェーンブロックを巻き上げる際、レールにレール吊り金具が引っ掛かり、その反動でレールが落下し、レール吊り金具取扱者の足上に落ち負傷した。	19	4	211	30 ～ 49 人
			1	2段ベッドの上段で就寝し、アラームの鳴動により起床した際、一				300

38	2018	7	17 ～ 18	運転士見習いの指導中、助手席に座ろうと助手席椅子の背もたれを後部に倒して着座した際、背もたれと椅子の間の背ズリ取り付け金箇所に左手小指を挟み受傷した。	35	7	232	～ 299 人
39	2018	7	23 ～ 24	到着した列車の車内で眠っていた酔客を降車させたが、酔客が怒り出し、左大腿部に膝蹴りをされた、さらに軌道内に落とされそうになり、踏ん張ったところで投げ飛ばされ、右足甲部を負傷した。	55	90	911	100 ～ 299 人
40	2018	7	8 ～ 9	グループミーティング終了後、清掃作業のため移動していたとき、足下を確認しておらず通路右端の排水溝の溝に足を引っ掛けて前のめりに転倒した。	59	2	418	100 ～ 299 人
41	2018	7	1 ～ 2	至近検査作業開始前の点検時に、作業責任者が検測パンタグラフ架台棒に右手首を挟まれ、負傷した。	26	7	232	100 ～ 299 人
42	2018	7	11 ～ 12	列車で送られてきたドライアイス（約20kg×4個）を、ホームに置いた台車に積み込み、駅へ移動中、構内踏切のレールの溝に台車のタイヤが嵌まったため、台車取っ手を上に引っ張るように持ち上げたところ、腰に激しい痛みを感じ受傷した。	73	19	921	1～ 9人
43	2018	7	13 ～ 14	貨車の入れ替え作業を行っていた際、標識を確認するため貨車に正対し、ステップを降下し、右足で着地したところ、足首をひねり受傷した。	26	3	232	50 ～ 99 人
44	2018	7	13 ～ 14	車両内部ガラス清掃を開始し、しばらくして、立ちくらみするのを感じ、熱中症となった。	50	11	715	50 ～ 99 人

45	2018	7	0 ～ 1	乗務員が駅に列車留置後、乗務所に帰所するため地上部に通じる階段を上りきったところで気分が悪くなり、脳貧血により、地上部へ出たところで倒れた。	48	2	417	50 ～ 99 人
46	2018	7	17 ～ 18	車内温度表示が他の車両と比べ高温であったため、温度を下げる応急措置を行ったが改善せず、乗客への対応に追われていたため、水分補給ができず、頭痛と吐き気があり、熱中症となった。	39	11	715	100 ～ 299 人
47	2018	8	16 ～ 17	駅にて駅務に従事し、トイレの清掃作業中に足を滑らせ転倒し、右膝を強打した。	60	2	416	50 ～ 99 人
48	2018	8	9 ～ 10	階段を後ろ向きに進行しながら、草刈りを行っていて、足を踏み外しそのまま下まで転落した。	36	1	413	10 ～ 29 人
49	2018	8	15 ～ 16	駅構内のモーターカー線でトロに設置しているレール積卸器の取り外す作業の補助を行っているとき、バランスを崩し、道床バラスト上で転倒し受傷し、左大腿打撲傷等と診断された。	61	1	232	50 ～ 99 人
50	2018	9	13 ～ 14	バンガローの全棟の火災報知機を点検中、棟から棟へ移動する際、傾斜の青苔の岩の上で足を取られて転倒し、左足を内側に折り込むように仰向けに倒れた。	61	2	417	100 ～ 299 人
51	2018	9	4 ～ 5	地下鉄車庫の屋外留置線で、出庫点検のため車両のステップに上って乗り込む際、手すりとステップが雨で滑りやすくなっており、右手と左足が滑って車体に体の左側を強打し、左肋骨を折った。	53	3	413	50 ～ 99 人

52	2018	9	0 ～ 1	出入口のシャッター閉扉を確認する際、雨で濡れていた階段で足が滑り転倒し、左足を痛めた。	48	2	413	300 ～ 499 人
53	2018	9	13 ～ 14	車輪転削職場にて、集塵機及び切粉排出装置の電源を入れるため階段を下りる際、最終段でバランスを崩し、手すりに右手で掴まったが前のめりに転倒し、左側大腿部を殴打して負傷した。	63	1	413	50 ～ 99 人
54	2018	9	16 ～ 17	郵便物を投函しに行くため、本社を出て道路を小走りで横断したため、渡り切った歩道で足がもつれて転倒し、体を支えようとして右手を負傷した。	58	2	419	500 ～ 999 人
55	2018	9	11 ～ 12	会議室にあった長机を移動しようとしたところ、持ち上げた際に手が滑り、机のキャスター部分が右足に落下し受傷した。	56	4	391	100 ～ 299 人
56	2018	9	22 ～ 23	新幹線車内の蛍光灯交換に向かうため、基地内の着発線の通路を歩行中、少し傾斜した場所で足がもつれ、バランスを崩して転倒し、左足首を捻挫した。	56	2	417	100 ～ 299 人
57	2018	9	13 ～ 14	バンガローの全棟の火災報知機を点検中、棟から棟へ移動する際、傾斜の青苔の岩の上で足を取られて転倒し、左足を内側に折り込むように仰向けに倒れた。	61	2	417	100 ～ 299 人
58	2018	9	4 ～ 5	地下鉄車庫の屋外留置線で、出庫点検のため車両のステップに上って乗り込む際、手すりとステップが雨で滑りやすくなっており、右手と左足が滑って車体に体の左側を強打し、左肋骨を折った。	53	3	413	50 ～ 99 人

59	2018	9	0 ～ 1	出入口のシャッター閉扉を確認する際、雨で濡れていた階段で足が滑り転倒し、左足を痛めた。	48	2	413	300 ～ 499 人
60	2018	9	13 ～ 14	車輪転削職場にて、集塵機及び切粉排出装置の電源を入れるため階段を下りる際、最終段でバランスを崩し、手すりに右手で掴まったが前のめりに転倒し、左側大腿部を殴打して負傷した。	63	1	413	50 ～ 99 人
61	2018	9	16 ～ 17	郵便物を投函しに行くため、本社を出て道路を小走りで横断したため、渡り切った歩道で足がもつれて転倒し、体を支えようとして右手を負傷した。	58	2	419	500 ～ 999 人
62	2018	9	11 ～ 12	会議室にあった長机を移動しようとしたところ、持ち上げた際に手が滑り、机のキャスター部分が右足に落下し受傷した。	56	4	391	100 ～ 299 人
63	2018	9	22 ～ 23	新幹線車内の蛍光灯交換に向かうため、基地内の着発線の通路を歩行中、少し傾斜した場所で足がもつれ、バランスを崩して転倒し、左足首を捻挫した。	56	2	417	100 ～ 299 人
64	2018	9	13 ～ 14	バンガローの全棟の火災報知機を点検中、棟から棟へ移動する際、傾斜の青苔の岩の上で足を取られて転倒し、左足を内側に折り込むように仰向けに倒れた。	61	2	417	100 ～ 299 人
65	2018	9	4 ～ 5	地下鉄車庫の屋外留置線で、出庫点検のため車両のステップに上って乗り込む際、手すりステップが雨で滑りやすくなっており、右手と左足が滑って車体に体の左側を強打し、左肋骨を折った。	53	3	413	50 ～ 99 人

									人
66	2018	9	0 ～ 1	出入口のシャッター閉扉を確認する際、雨で濡れていた階段で足が滑り転倒し、左足を痛めた。	48	2	413	300 ～ 499	人
67	2018	9	16 ～ 17	郵便物を投函しに行くため、本社を出て道路を小走りで横断したため、渡り切った歩道で足がもつれて転倒し、体を支えようとして右手を負傷した。	58	2	419	500 ～ 999	人
68	2018	9	11 ～ 12	会議室にあった長机を移動しようとしたところ、持ち上げた際に手が滑り、机のキャスター部分が右足に落下し受傷した。	56	4	391	100 ～ 299	人
69	2018	9	22 ～ 23	新幹線車内の蛍光灯交換に向かうため、基地内の着発線の通路を歩行中、少し傾斜した場所で足がもつれ、バランスを崩して転倒し、左足首を捻挫した。	56	2	417	100 ～ 299	人
70	2018	9	13 ～ 14	バンガローの全棟の火災報知機を点検中、棟から棟へ移動する際、傾斜の青苔の岩の上で足を取られて転倒し、左足を内側に折り込むように仰向けに倒れた。	61	2	417	100 ～ 299	人
71	2018	9	4 ～ 5	地下鉄車庫の屋外留置線で、出庫点検のため車両のステップに上って乗り込む際、手すりとステップが雨で滑りやすくなっており、右手と左足が滑って車体に体の左側を強打し、左肋骨を折った。	53	3	413	50 ～ 99	人
72	2018	9	0 ～	出入口のシャッター閉扉を確認する際、雨で濡れていた階段で足が滑り転倒し、左足を痛めた。	48	2	413	300 ～ 499	人

			1						人
73	2018	9	13 ～ 14	車輪転削職場にて、集塵機及び切粉排出装置の電源を入れるため階段を下りる際、最終段でバランスを崩し、手すりに右手で掴まったが前のめりに転倒し、左側大腿部を殴打して負傷した。	63	1	413	50 ～ 99	人
74	2018	9	16 ～ 17	郵便物を投函しに行くため、本社を出て道路を小走りで横断したため、渡り切った歩道で足がもつれて転倒し、体を支えようとして右手を負傷した。	58	2	419	500 ～ 999	人
75	2018	9	11 ～ 12	会議室にあった長机を移動しようとしたところ、持ち上げた際に手が滑り、机のキャスター部分が右足に落下し受傷した。	56	4	391	100 ～ 299	人
76	2018	9	22 ～ 23	新幹線車内の蛍光灯交換に向かうため、基地内の着発線の通路を歩行中、少し傾斜した場所で足がもつれ、バランスを崩して転倒し、左足首を捻挫した。	56	2	417	100 ～ 299	人
77	2018	10	3 ～ 4	工作車が帰着し、車庫内で点検作業中に、階段で足を踏み外して転倒した。その際に頭を強打し、外傷性くも膜下出血を起こした。	71	1	413	100 ～ 299	人
78	2018	10	14 ～ 15	スキー場で草刈り機に乗って作業中、草刈り機が揺れた際に転落し、草刈り機が被災者の体に乗らせた。	42	7	169	10 ～ 29	人
79	2018	10	8	マウンテンバイクコースをバイクで巡回中、前日の降雨で路面が濡	38	2	362	30 ～	

			9	れていたため滑って転倒した。				49 人
80	2018	10	10 ～ 11	鉄道車両の交番検査中、ブレーキの確認を終えて移動しようとしたところ、左脹脛に肉離れが起きた。	44	19	921	100 ～ 299 人
81	2018	11	16 ～ 17	構内で電車の出庫点検中、中間運転台から降車する際、左手に乗務員カバンを持ち、右手で乗務員室の扉を引いて閉めようとした。その際、扉が固くて閉められず、扉の側面に右手を掛けて力を入れて引いたところ、勢いよく扉が閉まり、右手小指を挟んだ。	21	7	419	100 ～ 299 人
82	2018	11	20 ～ 21	列車と乗客の接触事故が発生したため、現場に向かった。ホームから線路に下りる際、線路上にある信号ケーブルに足を引っ掛けて転倒し、左足首を捻挫し、両膝に打撲と裂傷を負った。	61	2	379	1～ 9人
83	2018	11	10 ～ 11	車両の出区点検中、上り方先頭車両の自動連結器を確認し、山側に移動しようとレールを跨いだところ、バラストで右足が滑って転倒し、右足首をひねった。	30	2	416	100 ～ 299 人
84	2018	12	15 ～ 16	スキー場国体コース中間付近でスキー客の誘導中にバランスを崩し、転倒した。降雪のためコースが深雪となり、右足下腿を打撲した。	64	2	719	30 ～ 49 人
85	2018	12	16 ～ 17	被災者は指導者的立場で、電車の運転士に訓練を行うため、駅にある信号機で作業していた。信号機横のコンクリート壁に移って作業した際、誤って排気口の開口部に転落し、約12.5m下の床に体を強打し負傷、死亡した。	64	1	418	100 ～ 299 人
86	2018	12	8 ～	スキー場第5リフト乗り場にて始業点検中に、ゲート横からリフトに乗車する際、ひざ下まで新雪がある場所を、低い姿勢でセパレートロープをくぐり抜けた。立ち上がろうと前に進んだところで左足	64	19	921	1～ 9人

			9	を取られ、肉離れを起こした。				
87	2018	12	10 ～ 11	スキー場のファミリーゲレンデで降雪機に給油中、近くに移動してきた作業車両の走行履帯に左足を踏まれ、挫傷した。	64	7	169	100 ～ 299 人
88	2018	12	5 ～ 6	従業員寮の朝食準備のため、地下倉庫に食材を取りに行く途中の階段で足を踏み外した。3段目から11段目まで転落し、右手首を骨折した。	64	1	413	50 ～ 99 人
89	2018	12	18 ～ 19	立哨中、他のお客様から報告を受け、F階段下でふらついている80歳位の酔客の男性を発見した。すぐに駆け寄り声をかけると大丈夫との返答があり、男性客がエスカレーターに乗車したため、不安を感じた被災社員が後方2、3段後ろのエスカレーターのステップに乗った。そのとき、男性客がバランスを崩し後ろ向きに倒れてきたため、支えようとしたが耐えきれず、覆い被さるような形で二人とも転倒し、被災社員は右膝を負傷した。	64	4	911	100 ～ 299 人
90	2018	12	10 ～ 11	下りホームでの業務中に、電車内の体調不良のお客様を救護するために、ホーム備え付けの車イスを押して現場に走行している際に、バランスを崩し転倒し、ホーム床面で、被災者の大腿部と骨盤を強く打した。	64	2	417	100 ～ 299 人
91	2018	12	14 ～ 15	在来線改札口で改札業務を行っていた際、団体専用改札口を無断で開け、出場している旅客を認め、声掛けしたところ、いきなり殴る蹴るの暴行を受けた。	64	90	921	50 ～ 99 人

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各小業種における死傷災害100事例まで（2018年）に戻る。](#)